

日本社会保障法学会会報 第39号

発行日：2015.9.1 発行人：加藤智章 編集人：片桐由喜 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21 小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
Tel：0134-27-5367 Fax：0134-27-5367 E-mail：sslaw@res.otaru-uc.ac.jp
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：527名（2015年9月1日現在）

「学会あり方検討会」の設置について 代表理事 加藤智章（北海道大学）

残暑お見舞い申し上げます。

この会報が配布される頃には幾分涼しくなっているものと期待しますが、この夏は猛暑に見舞われ、会員の皆様も暑さ対策に四苦八苦していると思います。

人口減少社会に突入した日本同様、日本社会保障法学会も会員数が漸減しています。会員数自体が減少しているだけでなく、院生を中心とした若手研究者も法科大学院の設立以降減少しています。このことは、学会報告を担当する会員の相対的な減少と学会事務局を担うことのできる担当校の減少となっており、学会運営に大きな影響を与えています。こうした状況を踏まえ、2015年5月15日に行われた学会理事会（於：近畿大学）において、学会誌・学会のあり方を検討するための委員会の設置が承認され、翌16日の総会で報告したところです。

日本社会保障法学会は春と秋の年二回開催していますが、学会誌は春と秋の報告をまとめて年1回発行するという体制をとっています。社会保障法学会と同時期に開催されている日本労働法学会が、年2回学会誌を発行していることと比較するとやや変則的な発行状況という評価も可能です。他方、IT革命の波は印刷物にも及び、電子書籍に代表されるように学会誌の電子情報化も視野に入りつつあります。

こうした学会を取り巻く状況変化に対応し、時代に合わせた体制を検討するため、学会誌発行のあり方（発行回数、紙媒体か電子媒体か）、学会の開催回数（従来通りの年1回の開催とするか、開催日を1日あるいは1.5日とするか）、理事会のあり方などを検討するため、7名の理事・会員からなる委員会を設置し、少なくとも現在の17期理事会の任期にあわせて、一定の方向性を打ち出していくこととしました。委員会のメンバーは、五十音順で、稲森公嘉会員、嶋田佳宏会員、新田秀樹理事、橋爪幸代理理事、原田啓一郎理事、丸谷浩介理事、水島郁子理事の7名です。

歴史的にも兄弟学会ともいふべき日本労働法学会では、学会開催回数の年1回にするか否かの委員会が設けられたと聞いております。日本社会保障法学会の検討委員会ではまだ成案を見ていませんが、日本労働法学会ともども、時を同じくして学会体制の見直しが行われるようです。

会員の皆様方にも、折に触れて検討委員会や理事会での議論状況を紹介していく予定です。会員の皆様からのご意見も参考にさせて頂くと同時に、検討委員会および理事会での成案が得られますようご支援のほど、よろしくお願いいたします。

第68回秋季大会開催案内 事務局長 片桐由喜（小樽商科大学）

日本社会保障法学会第68回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただけますようお願い申し上げます。

・日 時：2015年10月17日（土） 9：00～17：00

・会 場：東北大学 川内キャンパス（〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。

総会・国際交流講演会・ミニシンポジウム会場：

東北大学文科系総合講義棟2階 法学部第1講義室(202号室)(キャンパスマップのC19の建物)

・お問い合わせ先 Tel：022-717-7800(代表⇒法学部嵩さやか研究室へ)

・大会次第(詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。)

受付開始9:00

開会9:30

ミニシンポジウム① 「社会保険における使用者の責任」

司会：加藤智章(北海道大学)

○川崎 航史郎(龍谷大学院)9:30~10:00

「適用対象者の設定手続きに関する法的考察」

○北岡 大介(社会保険労務士)10:00~10:30

「届出義務違反と民事損害賠償責任」

○原田 啓一郎(駒澤大学)10:30~11:00

「社会保険と事業主の届出義務」

○質疑応答11:00~12:05

休憩(昼食)12:05~12:55

総会・開催校あいさつ12:55~13:15

国際交流講演会 司会：菊池馨実(早稲田大学)

○全光錫(延世大学校法学専門大学院)13:15~14:25

「韓国社会保障法の時代区分—時代の制約と社会保障法の対応、規範、および、政策の整合性—」
(通訳：片桐 由喜(小樽商科大学))

○コメント 岩村 正彦(東京大学)14:25~14:35

○質疑応答14:35~15:00

ミニシンポジウム② 「日韓社会保障比較—医療保障法制の視点から—」

司会：稲森公嘉(京都大学)

○洪性珉(韓国法制研究院)15:05~15:35

「医療供給体制における国家統制—保険指定を中心に」

○片桐 由喜(小樽商科大学)15:35~16:05

「公的医療保険の保障原理—韓国混合診療制度からの示唆—」

○質疑応答16:05~17:00

大会終了 17:00 (予定)

※同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2015年10月7日(水)**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。なお、学会会場の周辺には、飲食店が非常に少ないので、昼食の確保についてご注意ください」

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は6,000円です。懇親会の会場は、東北大学川内キャンパス厚生会館（キャンパスマップのB01の建物）・川内の杜ダイニングです。

※本大会においては、大会時間中の一時保育を実施します。但し、68回大会の一時保育は、当学会HPでお知らせしましたとおり、利用申し込みの締切日が8月12日(木)であり、この会報がお手元に届く頃には、一時保育利用申し込みは終了しております。どうぞ、ご了承ください。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 丸谷浩介 (佐賀大学)

第68回秋季大会は、東北大学川内キャンパスにおいて2015年10月17日(土)に開催されます。午前には加藤代表理事を中心に、「社会保険における使用者の責任」を、午後は延世大学校法学専門大学院の全光錫先生による国際交流講演会の後、片桐理事を中心に「日韓社会保障比較—医療保障法制の視点から—」をテーマにシンポジウムを開催します。

第69回春季大会は、同志社大学において2016年5月28日(土)に開催される予定です。現在、「子どもの発達支援と社会保障法—子どもの貧困対策推進法を契機として(仮)」をテーマにシンポジウムの準備が進んでいます。また、個別報告として、現在2件のエントリーを受理しています。

学会で取り上げるべきテーマなどにつき会員の方からのご意見をお待ちいたしております。また、個別報告についても随時エントリーを受け付けています (marutani@cc.saga-u.ac.jp)。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 丸谷浩介 (佐賀大学)

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募ください。募集要領は下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字(200字詰め原稿用紙70枚)以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。

- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2015年9月30日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付ください。
〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5-21
小樽商科大学商学部 片桐研究室気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 西田和弘（岡山大学）

学会誌31号の原稿締め切りは例年どおり12月20日ですので、関係する会員におかれましては締め切りの厳守をお願いいたします。また、67回春季大会報告者の方並びに68回秋季大会報告予定者の方には秋季大会終了後を目途に執筆要領をお送りいたしますので、文献の引用形式等につき要領を遵守していただけますようよろしくお願い申し上げます。

学会誌31号には学会員が執筆した書籍（原則として、2015年1月から12月までに出版されたもの）の出版案内を掲載する予定です。該当書籍についての情報がありましたら、編集委員長の西田までメールにてご連絡ください。（knishida@law.okayama-u.ac.jp）

第68回秋季大会では、学会当日の昼食休憩時に編集委員会の開催を予定しております。詳細については追ってメールにてお知らせしますので、編集委員の方はご承知おきください。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2015年度5月定例理事会(17期)

- ・日時：2015年5月15日（金）16：00～17：30
- ・場所：近畿大学 東大阪キャンパス B館10階共同会議室
- ・議事内容

- ①第67回春季大会の運営について（略）
- ②第68回秋季大会の運営について（略）
- ③第69回春季大会以降の運営について（略）
- ④学会誌投稿論文、奨励賞等について

丸谷企画委員長より、現時点で応募がない旨の報告があった。丸谷企画委員長より奨励賞審査委員である良永会員が審査委員を辞退する旨の報告があり、加藤代表理事が後任を奨励賞授与規定に基づき選任することが了承された。

丸谷企画委員長より、学会HP掲載の若手会員文献情報について、今後のあり方を企画委員会で検討することが報告された。

⑤学会誌編集委員会より

西田編集委員長より、学会誌第30号刊行について謝辞が述べられた。西田編集委員長より、委員の一部交代が報告された。また、今回の交代により委員は10名体制となることが報告された。新体制の編集委員は、西田和弘、嶋田佳広、濱畑芳和、原田啓一郎、三輪まどか、平部康子、国京則幸、永野仁美、脇野幸太郎(敬称略)。

⑥2014(平成26)年度決算・2015(平成27)年度予算について

片桐事務局長より2014年度決算について報告。監査報告を受けて承認。

片桐事務局長より2015年度予算(案)について説明。理事会において承認。

⑦各種委員会等より(略)

⑧入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）

⑨その他（略）

○2015年度7月定例理事会(17期)

・日時：2015年7月11日（土）16：00～17：30

・場所：北海道大学 東京オフィス

・議事内容

①第68回秋季大会の運営について（略）

②第69回春季大会の運営について（略）

③第70回秋季大会以降の運営について（略）

④学会誌投稿論文等について

丸谷企画委員長より、現在、応募がない旨が報告された。

丸谷企画委員長より、企画委員会提案として若手会員文献情報収集廃止が示され、理事会はこれを承認した。

⑤学会奨励賞について

良永会員の後任奨励賞審査委員に加藤代表理事が就任し、奨励賞審査委員長は互選の結果、木下理事に決定した。木下審査委員長より、2015年度奨励賞候補作について審査結果の報告があり、奨励賞授与との結論が示され了承された。

⑥学会誌編集委員会より（略）

⑦各委員会等より（略）

⑧入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください）

⑨その他（略）

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

・2015年5月15日（金）、7月11日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。

（順不同、敬称略）

村山佳代（早稲田大学）、井上美和（九州大学院）、三野寿美（高松法務局）、川村行論（北海道大学）、原田欣宏（高崎健康福祉大学）

・2015年5月15日（金）、7月11日（土）の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。

（順不同、敬称略）

後藤勝喜、大杉麻美、大和田敢太、石川彪、山口春子、藤森宮子、建部久美子、大山博、湯原悦子、土井康晴

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第69回春季大会は、2016年5月28日（土）、同志社大学にて開催される予定です。